



建築物総合環境計画概要書 新築

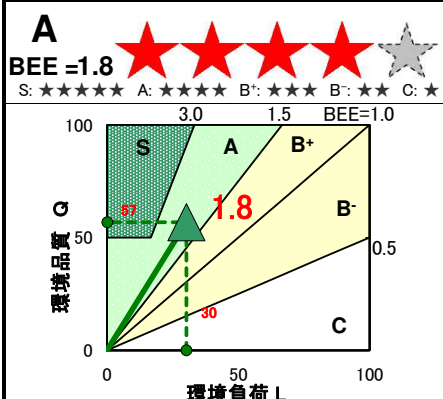
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

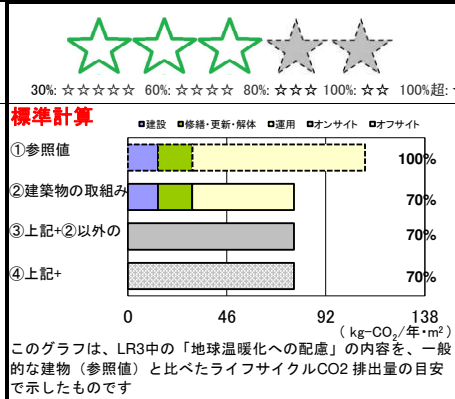
建物名称	(仮称)芝田二丁目HN計画		
建設地	北区芝田2丁目		
建築用途	事務所		
建築主			
設計者			
敷地面積	838.95	m ²	
建築面積	485.90	m ²	
延床面積	6,122.54	m ²	
構造/階数	S造	/	地上13階
完了年(予定)	2025年8月		

1-2 外観

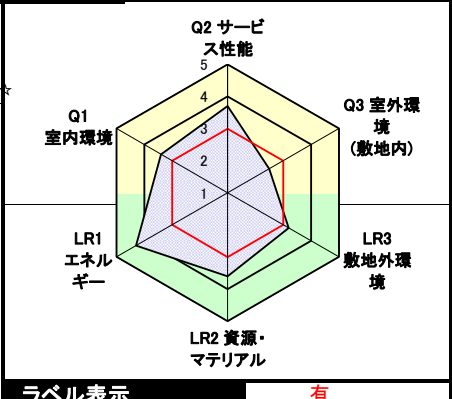
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

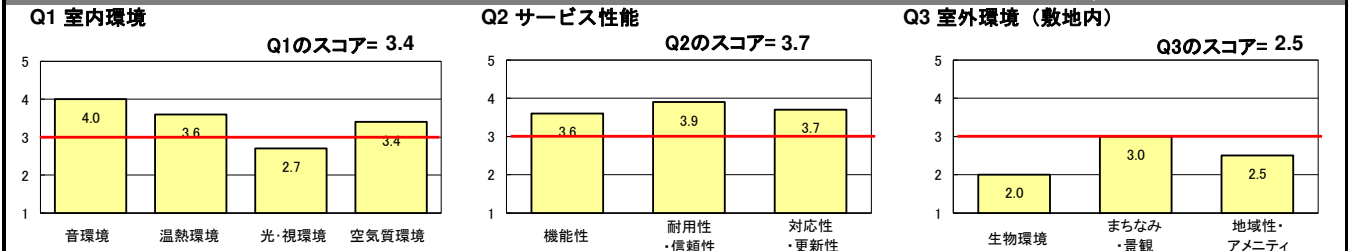


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

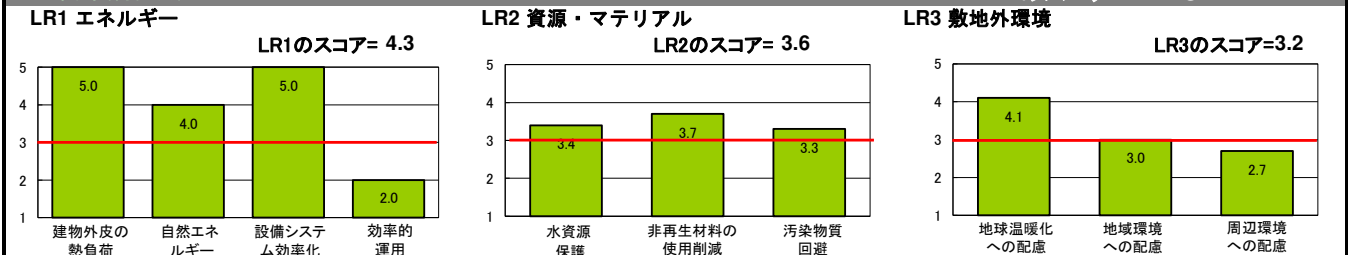


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 大阪市北区に建設されるオフィスビルの計画である。 高効率な設備機器の導入により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 遮音性能の高い建具の採用や、事務室と廊下間の界壁遮音性能を高くすることなどにより、音環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 躯体の高い耐震性や、更新間隔が長い給排水管の採用などにより、耐用性を向上させた。また、受電設備の二重化や非常用発電機の設置などにより、信頼性を向上させた。	Q3 室外環境 (敷地内) 外観パースを多数作成し、周辺環境との調和の確認をしている。
LR1 エネルギー 適切な断熱材が建具性能により外皮の断熱性能を高め、熱負荷抑制を図った。また、昼光センサーによる照明制御により、自然エネルギーの利用を図った。	LR2 資源・マテリアル 再利用できるユニット部材の採用や、天井ボードなどにリサイクル材を採用するなど、非再生材料の使用削減に努めた。	LR3 敷地外環境 自然エネルギー利用や省エネルギー化によりライフサイクルCO ₂ 排出量を抑制して、地球温暖化に配慮している。また、燃焼機器は使用せず大気汚染を防止することで、地域環境に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 4.1
配慮事項	LCCO2排出率削減に配慮。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	Low-eガラスを使用し断熱性能を高めている。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0
配慮事項	LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.79
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.59	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.59